

# 地 図

## I 教科、種目の観点

資料作成に当たっては、共通観点の他に、学習指導要領(平成29年3月)に示された各教科の目標や内容等に即して検討し、教科独自の観点を定めた。

1 教育基本法の理念や第三期長崎県教育振興基本計画の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長	
共通 観点	(1) 教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、「本県教育が目指す人間像」の育成に資する内容、構成となっているか。
	(2) ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長	
共通 観点	(1) 基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得されるよう工夫されているか。
	(2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されているか。
	(3) 主体的に学習に取り組む態度が身に付くよう工夫されているか。
教科 独自 観点	(4) 社会的事象について情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるように工夫されているか。
	(5) 地図や統計資料等は、社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を支える上で、適切な内容、構成、表現方法であるか。
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ(ユニバーサルデザイン)等の観点からの表記・表現や体裁の特長	
共通 観点	(1) 文章は、分かりやすく、質・量ともに豊かな記述内容となっているか。
	(2) 写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。
	(3) レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。

## II 選定資料利用上の留意点

- 1 資料の作成に当たっては、設定した観点ごとに、特に目立った事柄を取り上げること。
- 2 利用に際しては、全体を通して総合的に判断し、各教科書の特色をとらえるとともに、地域の実態、その他の条件を考慮して、適正な採択のための資料とすること。
- 3 前記の観点と次表の観点、具体項目とは、対応させて読み取ること。

III 具体項目

観点	発行者	東 書	帝 国
<p>1 るの教育基本法の理念や第三期豊かな人間性の育成を計画</p>	<p>(1) 成の県育一教 育教育の科 成教育目育の が標育の目 に資指す人間的 する内容、像一 るか。構一本教</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「地図のぼうげんに出発！ WORLD MAP」や「発見！わたしたちの日本 JAPAN MAP」において、世界各地や日本の自然・文化遺産を掲載することで、国際社会における我が国の役割、我が国や郷土の歴史や伝統、文化、自然に対する理解を深め、誇りに思う心を育む学習につなげられるよう工夫されている。</li> <li>「日本の自然災害」や「災害にそなえて」において、近年多発している自然災害への関心を高め、防災マップを基に避難の仕方について考えさせる資料を掲載することで、社会の一員としての自覚を養えるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「世界発見」のページで各国の有名なものや挨拶をイラスト入りで紹介するとともに、外国語活動での活用を促す言葉を掲載することで、それぞれの国の伝統や文化を尊重する心を育み世界の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚を養う学習につなげられるよう工夫されている。</li> <li>「日本の自然災害と防災」のページでは、地図や自然災害の年表、被害の様子を伝える写真、災害を防ぐ方法を掲載することで、災害について自分の問題として考えられるよう工夫されている。</li> </ul>
	<p>(2) れにい文ふ て生て化る いか理やさ るせ解歴と か。題深長、崎 材め自の が然伝統 取上げ学に統 わ習つ・</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「日本の歴史と文化」のページに、全国のいろいろな祭りの一つとして「長崎くんち」のイラストが、「日本の自然災害」のページでは雲仙普賢岳噴火が取り上げられている。</li> <li>「九州地方」の地図に本県の対馬と五島列島の位置を問う記述が、世界ジオパークとして島原半島が、世界文化遺産の登録地として端島（軍艦島）や長崎造船所が取り上げられたり、「主な漁港と水産物」の地図に、主な漁港として長崎市と松浦市が取り上げられたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「日本の歴史と世界文化遺産」における歴史の舞台になった場所の地図に、島原・天草一揆や出島が示され、文化遺産として端島（軍艦島）の写真が掲載されている。</li> <li>「日本の産業のようす」での「各地の水産業」のおもな漁港の水あげ量を表す地図内に長崎市と松浦市が、九州地方の地図には、教会群やカステラ、オランダ商館跡などが掲載されている。</li> </ul>
<p>2 特学 習指 導要 領の 目標 や内 容等 を踏 まえて、 確かな 学力の 育成を 図る上 での</p>	<p>(1) か工に知基 夫習識礎的 さ得・的 れさ技・基 れる能本 てが確 いよ確的 るう実な</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「地図帳の使い方」では、地図記号や索引の使い方、方位、縮尺についてイラストを使って解説することで、地図の見方や使い方が理解しやすいよう工夫されている。</li> <li>世界地図と地球儀を並列して示すことで、地球儀を使って調べるよさに気付き、方位や距離、大きさや形を正確に調べるなどの基礎的・基本的な知識・技能を習得できるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「地図って何だろう」では、同じ場所の真横からの写真、ななめ上からの写真、真上からの写真の順に配列することで、地図の意味について実感を伴いながら理解することができるよう工夫されている。</li> <li>各地方のページに方位磁針やものさしを掲載することで、基礎的・基本的な知識・技能を繰り返し活用し確実に習得できるよう工夫されている。</li> </ul>
	<p>(2) るれ力必課知 か。要題識 よう現なを・技 工夫考思解能 さ力考決する が力がた用 れ育た判めし れ成判めし いさ断にて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「日本の歴史－世界とのかかわり－」では、年表と当時の世界の国々と日本の関係が分かる地図を掲載し、航路や領土の広がりなど調べる視点を明確に示すことで、歴史的事象について思考・判断し表現する学習活動につなげられるよう工夫されている。</li> <li>「日本の自然－気候－」において各地の気温と降水量のグラフを並べて配置したり、各ページに関連する資料のページを示したりすることで、複数の資料を関連付けて思考し表現する学習活動につなげられるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「地図のやくそく」の「たからさがしにちょうせんしよう」では、方位・地図記号・距離など学習した知識や技能を生かす問題を設定することで、課題解決のために知識や技能を効果的に活用することができるよう工夫されている。</li> <li>「日本の産業のようす」では、それぞれの視点において吹き出しに注目すべき点や調べる内容を明確に示すことで、資料を活用して思考し表現する学習活動につなげられるよう工夫されている。</li> </ul>
	<p>(3) 工む主 夫態体 さ度的 がれに て身に ている学 に習に 付く取 か。よ う組</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「みんなが住んでいるまちから東や西に向かうと～」「みんなのまちの名産品は～」など、郷土に目を向けさせる言葉を掲載することで、自分の住む市町や県と比べて考えるなど、自ら課題意識をもち主体的に学習できるよう工夫されている。</li> <li>「Dマークについて」に、インターネットへアクセスできるURL及び二次元コードを掲載することで、「ビンゴ！都道府県かるた」や「地図帳でさがそう！世界の国々」などのコンテンツを通して主体的に学習できるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャラクターの言葉では、調べる内容について明確な視点を与えるものだけでなく、調べる方法の示唆を与えて学習活動のきっかけとなるような投げかけの言葉を記述することで、自ら課題意識をもつことができるよう工夫されている。</li> <li>「地図マスターへの道」では、学習の進み具合を記録できるようにしたり、コンテンツメニューへアクセスできる二次元コードを随所に掲載したりすることで、主体的に学習できるよう工夫されている。</li> </ul>

## III 具体項目

観点	発行者	東 書	帝 国
2 学習指導要領の内容等の特長 学習指導要領の内容等の特長を踏まえて、確かな	(4) 社情を的確に把握し、技術的・工学的・身体的・精神的・社会的・文化的・経済的・環境的・法的・倫理的・美的・教育的・政治的・宗教的・哲学的・科学的・芸術的・スポーツ的・娯乐的・健康的・安全な内容を盛り込む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図や資料の全編にわたり、イラストやキャラクターの吹き出し、写真や説明文等を掲載することで、調べる活動において、適切に情報を集める力、集めた情報を読み取る力を高める上で効果的に活用できるよう工夫されている。</li> <li>・各ページの地図タイトルの下にもものさしのイラストを掲載したり、方位磁針を掲載したりすることで、実際の距離を調べる活動や位置関係を調べる活動に活用できるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「トライ！」のコーナーでは、学習した内容についての質問の答えを地図帳に書き込む活動ができるようにすることで、学習内容をすぐに振り返り理解を深めたり、技能を確実に身に付けたりすることができるよう工夫されている。</li> <li>・「日本の自然災害と防災」において、災害を防ぐ工夫について調べる方法を示すとともに、防災マップの作成の仕方を紹介することで、「調べる」「まとめる」「伝える」技能を習得しやすくできるよう工夫されている。</li> </ul>
	(5) 地図や資料の全編にわたり、イラストやキャラクターの吹き出しや写真、説明文等を掲載することで、位置や空間の広がりや分布などを調べ課題を追究したり解決したりできるように工夫されている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「日本の自然」「日本の産業」では、降水量と海流、土地の利用とおもな農産物、工業の分布などについて複数の資料を掲載することで、位置や空間の広がりや分布などを調べ課題を追究したり解決したりできるように工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自動車産業のさかんな愛知県」のページでは、自動車産業関係の工場や完成車の出荷について地図中に示すことで、自動車組立工場の分布や出荷の様子に着目させ自動車産業の生産や流通について追究することができる内容構成になっている。</li> <li>・「各地の水産業」では、海流とおもな漁港の水あげ量を同じ地図上に示すことで、海流（寒流と暖流）と水あげ量を関連させながら追究することができる内容構成になっている。</li> </ul>
3 学習効果や表現や体裁の特長 学習効果や表現や体裁の特長、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点から	(1) 文章が読みやすく、分量が適切で、内容が充実している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の関心が高まるような情報を分かりやすい文章で随所に紹介することで、理解しやすい内容となっている。</li> <li>・地図の写真、資料図における文章は、場所、年代等を明記しながら要点を押さえて簡潔に記述することで、理解しやすい内容となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・解説の文章は、要点を整理し端的に表現することで、理解しやすい情報量になるよう工夫されている。</li> <li>・「広く見わたす地図」では、地方図に比べ情報量を少なくすることで、学年の特性や学習内容に合わせた取扱いができるよう工夫されている。</li> </ul>
	(2) 写真や挿絵、図表などを適切に配置し、学習意欲を高める効果がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の主な世界遺産の写真やイラストなどをふだんに掲載することで、興味・関心を高め、学習内容と関連付けながら意欲的に取り組めるよう工夫されている。</li> <li>・世界の主な地域図において、世界のいろいろな動物や料理の写真とイラストを掲載することで、関連する国の位置を確認したり、興味をもった事象をさらに調べたりできるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の主な地域図の「生まれ！世界の子どもたち」で主な国の首都や人口、おもな言語、豆知識を掲載することで、国際理解の学習への関心を高めることができるよう工夫されている。</li> <li>・世界の主な地域図において、児童にも馴染みのある物語や歌、話題について紹介する記号を地図上に掲載することで、日本とのかかわりについて理解を深めることができるよう工夫されている。</li> </ul>
	(3) レイアウトや色調、文字の大きさや配置が適切で、読みやすい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全編にわたり文字や記号は大きく見やすい書体と明るくはっきりした色調を使うことで、親しみやすく読み取ることができるよう工夫されている。</li> <li>・「くらべてみよう日本と世界」に掲載している主な山の高さ、川の長さ、湖や島の広さ、主な建物の高さ、降水量や気温や統計資料では、イラストや色分けで示すなど、分かりやすいよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地図のやくそく」や「地図帳の使い方」「資料図」において、内容ごとに枠で囲んだり、各内容間の余白を確保したりすることで、内容ごとのまとまりがはっきりとし見やすいレイアウトになっている。</li> <li>・「地図のやくそく」のページでは、左上に「課題」、右下に「まとめ」とすることで、課題とまとめが一目でわかるレイアウトとなるよう工夫されている。</li> </ul>